

6. D.D.T. の農業薬剤としての2, 3の 殺虫試験結果に就て

松本 鹿藏, 大野 稔, 武居 三吉

D.D.T. を乳剤となし農作物を害する昆虫類に撒布してその農薬としての効果を
実験せり。

成績の概要次の如し。

1. 乳剤原液の調製には分離の点に関し慎重に考慮して處方することを要す。
2. D.D.T. の桃アカアブラムシ (*Myzus persicae* Sulzer) に対する全死濃度は 0.05% 位, ダイコンサルハムシ (*Phaedon brassicae* Baly) 成虫に対する全死濃度は 0.1% 附近なることを示せり。因にこの濃度にては白菜の生育に影響を認めず。
3. これを Pyrethrin の全死濃度と比較するに蚜虫に於ては $1/17 \sim 1/20$, ダイコンサルハムシに於ては約 $1/5$ の効力を示したるに過ぎず。
4. 然し D.D.T. の特長として認むべきは虫体に撒布せずとも棲息場所たる莖葉面に撒布し置けばそこを這ひまわり或は静止する間に漸次中毒して虫体に撒布したると同様の殺虫効果の現はるることなり。
5. この場合に於ける殺虫機構は全く脚の跗節の接触面より D.D.T. が浸透するものの如し, 即ち密閉容器内に於て D.D.T. と跗節とを接触せしむるものと遮断するものを実験して明かにこの事実を証明し得られたり。
6. Pyrethrin と D.D.T. とを混合して乳剤となしたるものはその単独使用の何れよりも遙に殺虫力を増大するものの如し。